

先輩労働基準監督官からのメッセージ



香川労働局坂出労働基準監督署
白石 隼也
平成27年度任官（B監）

Q：労働基準監督官B監（理系）を志望した理由は？

大学時代に受講していた公務員講座で、労働基準監督官に理工系の採用枠があることを知り、実際に労働基準監督官となられた先輩の話聞き、働く人が安全かつ安心して働ける職場の実現を目的とする労働基準監督官の仕事に魅力を感じました。

Q：任官してからイメージは変わりましたか？

国家公務員ということで堅いイメージがありましたが、仕事のスケジュールをある程度自由に自分で組み立てることが出来るため、柔軟性のある仕事だと思いました。

Q：監督官の仕事で難しい点は何ですか？

労働基準監督官が行う監督指導の対象は、世の中に存在するあらゆる業種の事業場になりますので、業種ごとの特徴を捉えた上で、効果的な指導を行うには幅広い知識が必要というところです。

Q：仕事において心がけていることはなんですか？

監督署にご相談に来られた方には、懇切丁寧に対応することにより、監督署に相談して良かったと思っただけのように心掛けています。また、事業場に指導をする際には、法令を示すだけでなく、是正の方向性についても可能な限りアドバイスをし、法令遵守が定着されるよう心掛けています。

Q：理系の知識をどのように活かしていますか？

私は大学時代、有機化学を専攻しておりました。製造業の工場等では、化学物質を使用した作業が行われているケースが多く、安全データシートと呼ばれる対象化学物質の危険性・有害性等の情報が記載された文書を読み解く必要がありますが、抵抗なく対応できたことから、大学時代の知識が活かされていると思います。

先輩労働基準監督官からのメッセージ



Q：仕事にやりがいを感じていますか？

監督指導を通じて、労働環境が改善された時には、労使双方の役に立つことができた実感しますし、労働者から「監督官がうちの会社に来てくれたおかげで、労働環境が改善され、働きやすくなりました。ありがとうございました。」と感謝の言葉をいただいた際には、改めて、監督官の仕事はやりがいがあるなと感じました。

Q：これまでの経験で、印象に残っていることは？

私が労働基準監督官として採用され、初めて調査を行った死亡災害です。災害の内容は、古紙を圧縮梱包する機械の中に、被災者が落下し、機械に押し潰されたというものです。初めて目にする死亡災害に衝撃を受けるとともに、仕事に命を落とすことがないように、労働災害防止対策を講じることの重要性を感じました。

Q：ワークライフバランスはとれていますか？

監督官の仕事は自分でスケジュールを組むことができますので、好きなタイミングで有給休暇を取り、家族や友人と遊びに出かけることも出来ますし、定時退庁する日も多々ありますので、仕事終わりにジムでトレーニングする等、趣味の時間を充実させることも出来ています。

Q：理系の学生に伝えたいこと

理系出身ですと、法律については素人同然であり、文系出身者と差がつくかもしれないと不安に思うこともあるかと思いますが、充実した研修により、基礎的な知識は習得出来ますので安心してください。

また、理工系ならではの知識・経験を活かすことが出来る場面も多々あります。

共に働ける日を楽しみにしています。